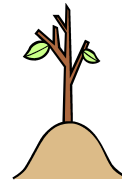


種時く人

令和3年11月9日
須恵小学校便り28号



最も不機嫌なカスタマーは、そこから学ぶことができる貴重な存在である
ビル・ゲイツ

緑の少年団での登山体験（10/30）



晴天の中、愛甲利孝様及び5人の白髪岳を守る会の皆様の案内のもと、団員24人・保護者等17人・職員4人で、白髪岳へ登ってきました。登山途中では、守る会の方に木々の説明をしていただき、大変勉強になりました。頂上では、ややガスはあったもののすばらしい眺望で、とても気持ちよかったです。

午後から曇ってきましたが、計画どおりに進めていましたので、雨に打たれることなく終了しました。怪我もなく、参加者全員にとって、よい思い出の一日になったと思います。



こころのアンケート（11/2）

今月も「こころのアンケート」を実施しました。今回はタブレットPCで行いました。これは、誰が書いたか特定されない方法であり、自分が書いたことを友達に見られる心配もありません。より自分の思いを書きやすくなるように担当が工夫しました。もちろん、書いたことに対しては、担任及び場合によっては生徒指導や学校全体で連携し課題解決に取り組みます。保護者の皆様や地域の皆様も、何かありましたら学校までお知らせください。

心が健康であることで、学習も成果が上がると信じます。



くまもと教育の日

11月1日は「くまもと教育の日」です。11月中は、県内の学校は学習発表会や教育に対して理解を得る活動を行います。更に、我々教育関係者が、教育に対して真摯に振り返る機会でもあります。教育は、保護者及び地域と学校が協働してこそ、大きな成果を上げることができます。新しい社会に適合した教育も必要です。イェール大学及び東京大学名誉教授の浜田宏一氏は、日本経済低迷の原因として教育を挙げました。①基礎的学力、特に記憶と計算能力だけでは世界のフロンティアでは前に進めない。②知識等のインプットに偏り、アウトプットが限られている。お互いの意見交換から新しいヒントを得ることがフロンティア開発には不可欠である。③日本は、画一的である。自分の中学時代の校長（日本人）は、「不得意なことを失くせ」と言ったが、アメリカの園長は「子供一人一人が違うことを理解するのが教育のはじめ」と言っていた。